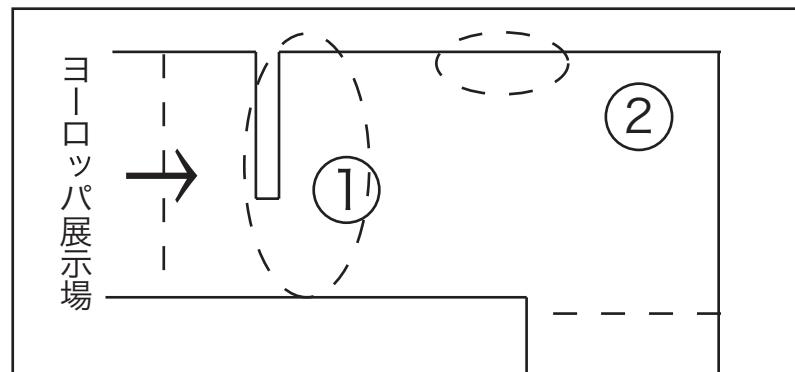


ちょっと拝見。アフリカのくらし

アフリカは、世界の陸地（りくち）の20パーセントを占める、とても大きな大陸なんだ。そしてそこには言葉や生活スタイルもちがうたくさんの民族が住んでいるんだって。今日はそんなアフリカの人びとのくらしの一部を展示場で見てみよう。



アフリカ展示場マップ

くらしのなかのヒョウタン

①のコーナーにはヒョウタンでできた道具があるよ。人間は、自分の身のまわりにあるものを上手につかって、くらしの中で役立てているんだね。それじゃあ、次の道具を展示場で見つけて、番号、国名や地域名を書いてみよう！

1：バターフクリ用ヒョウタン

()

2：牛乳いれ

()

牛乳いれのかざり付けに使われている「あるもの」とは？2つあるよ。

()

③：楽器

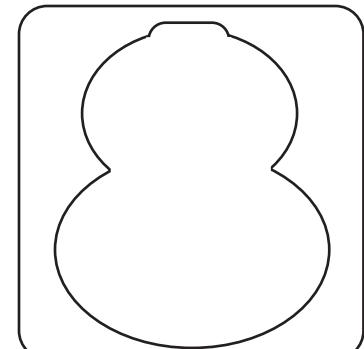
()

④：酒いれ

()

⑤：日本ではくらしの中でなにを利用して
しているかな？日本展示場を見て
みるといろいろ発見があるよ。

()



「酒いれ」のもようを書いてみよう

仮面でヘンシン！

②のコーナーにはアフリカの仮面がたくさんあるね。どれもとっても個性的！この仮面の中には生き物をイメージしたものもあるんだよ。次の仮面を見つけて、どんな生き物なのか考えてみてね！

その1 AH0668

ボボという民族の仮面だね。なが～くのびた部分がヒントだよ。

()

その2 AH0693

ゾンゲの仮面。顔のもようはどんな生き物をイメージしてる？

()

その3 AH0669

これもボボの仮面。これはムズカシイ！虫ってことがヒントだ。

()

その4 AH0629

カメルーンのバミレケの人びとのもの。この動物は大きいよ！

()

◎ざいごに質問！みんなの身のまわりにはどんな仮面があるかな？

() () ()

（ 年 組 名前： ）

このワークシートは国立民族学博物館の常設展示場の内容を小学校の教科書の内容に引き付けて見学することを想定して制作されたものです。

「ちょっと拝見。アフリカのくらし」では、アフリカ展示場のヒヨウタン文化と仮面に焦点を当て構成されています。内容の多くは、展示物をよく見ることから答えや感想を導き出せるように工夫しました。まずは展示物をよく見て、そこからさまざまなことを読みとり、自分なりに考えてみてほしいと思います。

「解答と解説」でご紹介するビデオトークの関連番組をご覧いただくことで、展示物がどのように使われているのかを確認でき、テーマのより深い理解につなげることができます。

解答と解説

くらしのなかのヒヨウタン

●ヒヨウタンは、アフリカのサバンナ地帯に住む人びとにとつて、暮らしおの中いろいろなものを入れるためにの容器（ようき）として、とても大切なものです。サバンナは乾燥していて、ヒヨウタンがたくさんとれる環境（かんきょう）なのです。人間は、もともと自分たちの身のまわりあるものにいろいろな手を加えて暮らして役立つ道具を作つてきました。これらのヒヨウタンの中には、彫刻や焼き印、着色などによつてうつくしく加工がほどこされたものもあります。このうち、焼き印はよく焼いたナイフのような焼きごてでヒヨウタンの表面を焦がして模様をつける方法です。カメリーンのフルベルの人びとのあいだでは、女性がこの模様をほどこします。

1：バターツクリ用ヒヨウタン

AH0310 カメリーン北部 中央アフリカ

2：牛乳いれ

AH0155 ケニア南部 東アフリカ

AH0156,0157 ケニア北部 東アフリカ

AH0311～0313 タンザニア北部 東アフリカ

牛乳入れにつけれる飾り：ビーズと具（子安具）

●ウシやヤギなどの動物をかつて生活している人びとのことを牧畜民（ぼくちくみん）といいます。アフリカのサバンナに住む牧畜民はウシ、ヤギ、ヒツジ、ラクダの乳（ちち）や肉を利用します。しほった乳を入れるために、さまざまな形のヒヨウタンを使うのです。これらのヒヨウタンには、持ち運びにべんりな皮ベルトをつけて、ビーズや子安具の飾りが付けられています。ヒヨウタンは交易（こうえき）によって手に入れるのですが、最近はきれいなかざりを付けてみやげものとして観光客に売られることも多くなってきました。

3：楽器

AH0316,0317 カメルーン北物 中央アフリカ

●ザントゥールとよばれる楽器。女性がつかう楽器です。右手にはそいほう、左手にふといほうを持ちます。あぐらをかいて、太ももに左の口をあて、右手でほそい方ほうの口にふたをして音を出します。ふつう、この楽器のリズムにあわせて恋歌（こいうた）が歌われます。

4：酒いれ

AH0314 タンザニア北部 東アフリカ

●アフリカでは、酒づくりの方法が発達（はつたつ）していく、はちみつ酒、雑穀（ざつこく）酒、バナナ酒、ヤシ酒などたくさん種類の酒がつくられています。お酒を飲むときは、ひとつおの器（うつわ）をまわし飲みしたり、ヒヨウタンやストローを使うのみ方もあります。



「酒いれ」のもう

ビデオトーク：1239 「ボロロ族の生活」

●竹、ワラ、植物のツル、木など今では私たちの身の回りにある道具の多くが、プラスチックやビニールなどの石油から作られたものが多くなっていますが、みなさんのおじいさんやおばあさんが小さかった頃には、自分たちの家で米や麦を作ったときにとれるワラや、山に生えている竹や植物のツルを使つていろいろな道具が作られていきました。みんなの日本展示場にもそんな道具がたくさんあります、見つけられましたか？みんなの家にもまだ、そういう昔ながらのくらしの道具があるかもしれませんね。

仮面でヘンシン！

●仮面は、生身の人間の顔をつけて変身させるための道具です。祭りや儀礼（ぎれい）で仮面をつけた人がカミや精霊（せいれい）として登場して、人びとと交流するといったことは世界中で見ることができます。アフリカでもお葬式や成人儀礼（せいじんぎれい）、農作物の種をまいたり収穫（しゅうかく）するときの祭りに、仮面をつけたおどり手が登場します。仮面をかぶつたおどり手は、森のおくからやつてきた死者の靈（れい）や精霊（せいれい）だとみなされているのです。こうした精霊をあらわす場合に動物の仮面が登場することもめずらしくありません。これらの動物には一つの共通点があります。それは、人間が飼っているウシやヤギなどの家畜（かちく）ではなく、野生の動物だということです。これは、人びとが動物の仮面であらわされる精霊は人間の生活する世界の外からやつてくるものだと信じていることとつながっているのです。そして、仮面をつけることで人間の世界とは別のところに住む「なにか」になれるとい

う考え方には、なにも遠いアフリカの人びとにだけ当てはまるものではありません。日本のお祭りにも神様や悪魔（あくま）の仮面がたくさん登場します。もつと身近なところでは、普段は人間の姿をしていてもピンチになると変身して悪者をやつつけるというストーリーで人気のウルトラマンが、M78 星雲という遠い宇宙からやつてきたとされていることにも通じるものなのです。

その1：トリ

●マリ南部からブルキナファソ北西部にかけて住むボボの人びとの仮面です。長くのびたのはくちばしで、そこにはいろいろな文様（もんよう）がほどこされています。

その2：シマウマ

●ゾンゲの人びとはザイールの中部に住んでいます。この仮面のおどり手には、いろいろな儀礼（ぎれい）のときに儀礼のメンバーでない人を追いはらう役目があります。しま模様は、シマウマをあらわし、口はワニをイメージしているそうです。これらの動物は攻撃的（こうげきてき）な動物と考えられていて、その動物をイメージした仮面は攻撃的な動きをみせるおどり手にはぴったりなものなのです。

その3：チヨウ

●ボボの仮面は平べったい形がとくちょうで、この仮面も左右につばさの部分が長くはり出している。毎年、雨季（うき）の前におこなわれる祭りでは、チヨウの仮面を付けたおどり手が、雨の後に羽根を広げるチヨウのしぐさをまねておどります。

その4：ゾウ

●カメリーン高地は、とてもユニークな造形文化をもつことで知られています。それはさまざまなものに色とりどりのビーズをつかってかざりたてるところにとくちょうがあります。このゾウの仮面をつくったバミレケの人びともそのひとつなのです。カメリーン高地の諸民族の仮面のほとんどは、死んだ人をうめるときの儀礼（ぎれい）でおどられるダンスで、おどり手がつけるのです。ゾウはカミの使いと考えられていているのです。

◎さいごの質問について

テレビ番組のなかにはいろいろな仮面が登場しています。一番有名なのが、そのままズバリ「仮面ライダー」ですね。その他にも変身するときに仮面やマスクを付けるキャラクターはたくさんいます。プロレスにもマスクをつけたレスラーがいますね。みんなさんの地元のお祭りでは天狗（てんぐ）や獅子（しし）がかつやくしていませんか？パーティーでもマスクをかぶって会場を盛り上げることができます。このように、仮面は人間以外の「なにもの」かに変身するときにならなものなのです。そして、そんな変身がおこなわれるのはお祭りやパーティーのようないつもどはちがう特別な時であり、仮面ライダーなら敵の怪物（かいぶつ）と戦うという特別なパーティーが必要な時である場合が多いのです。みなさんもいろいろな場面で見かける仮面にどのような役目と効果があるのか考えてみてください。